

2/18 我が家自慢のみそを作ろう 鮎貝地区でみそ作り教室

鮎貝地区コミュニティセンターではこの日、地元の方々約10人ほどが集まり、みそ作り教室が開催されました。

10年以上続いているこの活動は、年に1回各家庭から煮豆や麴などを持ち寄り、手作りのみそを作ります。何年も続けて参加しているというベテランの方から、今回が初参加という方も集まり、皆さんで協力しながら作業をすすめました。参加した方は、「毎年楽しみにしている活動です。手作りだから安心できるし、どんな味噌よりもおいしく感じます」と話し、生き生きと仕込み作業を行っていました。



美味しい味噌ができるようにと、丹精込めて仕込みました

2/22 卒業式に向け、思いを込めて 蚕桑小学校で桜のコサージュ作り

蚕桑小学校6年生の児童たちはこの日、学校で飼育した蚕の繭を使い、桜のコサージュを製作しました。

この桜のコサージュは、卒業式に卒業生と保護者、学校の先生方が身につけるもので、蚕桑小学校の伝統でもあります。今年も新野久子さん（荒砥甲）に作り方を教わりながら作業をすすめました。とても細かい作業が多く、特に桜の形に切った繭を薄く剥いていく作業がとても難しかったようです。それでも、感謝の思いを込めながら丁寧に作業を進めていき、約3時間かけて完成させました。完成した桜のコサージュは、淡いピンク色をした、とても可愛らしい作品に仕上がりました。



◀新野さんから花びらの作り方を教わりながら作業をすすめました。
▼花びらをとりつけたら完成！



2/24 卒業式に向け、思いを込めて 鮎貝小学校が白光園へ車いすを贈呈

鮎貝小学校では、今年もアルミ缶およびペットボトルのキャップを集め、福祉活動として車いすの購入と発展途上国へのワクチン支援を行いました。

今年も、アルミ缶が昨年より8kg多い452kg、キャップについては156.4kgを回収しました。アルミ缶回収で購入した車いすは、特別養護老人ホーム白光園（稲葉明彦園長）に贈呈され、回収したキャップはトヨタカローラ山形(株)長井支店に手渡されました。環境委員長の後藤真優さんは、「たくさんの人の役に立てるように、全校児童と先生方で力を合わせて頑張りました」と述べました。なお、今回は学校での贈呈式は行わず、それぞれ個別に贈られました。



学校関係者の皆さん。立派な車いすを購入しました

TOPICS

トピックス

&

まちのホットな話題
をお届けします！

スポーツ

SPORTS

2/4 立志を迎えた生徒たち。決意を新たに 白鷹中学校で登り鯉の会

白鷹中学校2年生の生徒たちを対象に、登り鯉の会が開催され、高橋鯉店（長井市）より提供いただいた鯉のうま煮を給食で味わいました。

給食前の時間には、高橋鯉店の方より鯉の食文化や出世の象徴として縁起の良い生き物である由縁などを説明していただき、理解を深めました。その後、生徒を代表して挨拶をした黒澤瀬奈さんは、「今日の会は、自分を見つめ直す良い機会となりました。支えてくれた方々に感謝し、将来への決意を固め、これからも頑張っていきたいと思います。」と力強い決意を述べました。給食の時間になると、生徒たちは鯉のうま煮をとておいしそうにいただいていたいました。



甘くて美味しい鯉のうま煮をいただき、力をつけました

2/9 必勝を祈願して、いただきます！ 受験生が「勝ち関鮎^{どき}」をいただく

白鷹中学校3年生の生徒97人に、道の駅白鷹ヤナ公園あゆ茶屋（樋口和貴駅長）より「勝ち関鮎^{どき}」が送られました。

毎年この時期になると、高校受験を控えた3年生の生徒に、進路実現に向けて頑張ってもらいたいと思いを込めて、あゆ茶屋より「勝ち関鮎^{どき}」と称し町の魚である鮎の塩焼きが送られます。給食でいただいた生徒たちは、「私たちのために、応援の思いが込められた鮎をいただいてとても嬉しいです。この思いを力に変えて、入試に向けてしっかりと勉強を頑張っていきます。」と話しました。これから、受験を控えている皆さん、体調管理に気を付けて頑張ってください！



ふっくらした鮎の塩焼きにかぶりつく生徒